

火の鳥

NPO法人化15周年記念鑑賞例会

12月18日(日)開催!



VOL.
99

2016年10月1日 認定NPO法人こどもステーション山口発行(年2回発行)

生の舞台・さまざまな遊び・たくさんのなかま...そんな出会いの中で子どもたちがいきいきと活動しているようすなどをお伝えします

人形劇団クラルテの
人形といっしょに
「やまぐち火の鳥合唱団」の
子どもたちが
手塚治虫の壮大なドラマを
山口によみがえらせます。



やまぐち火の鳥合唱団

メンバーの20名は会員をはじめ公募で集まった小学3年から高校生。7月の結成からほぼ毎土曜日、桑原智恵さん(市内・音楽講師)の指導で練習を続け、12月の本番を目指しています。8月には「火の鳥」を作曲された一ノ瀬季生さんが来山され、舞台のイメージを伝えてもらうなどして、いちだんと上達したようです。「決して完成度の高いコーラスを目指しているのではない。一人ひとりが歌のイメージを持って堂々と歌ってほしい」と一ノ瀬さん。子どもたちが歌う姿から、平和やいのちのたいせつさがきくと観客に伝わるはず、と話されました。

人形劇団クラルテ

大阪を拠点に活動するクラルテが創立65周年を記念して再上演する「火の鳥」。舞台は100体以上の人形が出演する超大型作品です。クラルテは今年5月に「11びきのねこごろんこ」の楽しい舞台を山口で見せてくれました。



今、この時代だからこそ

「火の鳥」。



©手塚プロダクション

少年ナギから...

子どもたちの歌声から...

いのちの尊さが伝わる!

♪この世界はどうして生まれたの?

♪人間は何のために生まれたの?

「火の鳥」のオープニングからフィナーレまで、

いくどとなく歌われるこのフレーズ。

そしてこの問いかけは、

願いとなって、歌い続けられます。

♪もうやめて もうやめて

♪たたかいのない国へ行きたい

♪たたかいのない国へ...

ものがたり

おおむかし、クマソの国に火の鳥がいました。火の鳥はなんどでも火の中から甦り、その生き血を飲んだ者は永遠の生命を手に入れることができると言われていました。

そんな火の鳥をねらう、ヤマタイ国の女王卑弥呼。そして卑弥呼に故郷の村を焼き滅ぼされて復讐を誓うクマソの少年ナギ。少年ナギは姉や小さな子どもをいさから守るため、火の鳥をしとめる決心をします。

限りのない人の欲望。そんな自分勝手な欲望から次々とくりかえされる争いが、罪のない人々の命をうばっていく。争いは誰も止めることができないのかと、舞台は私たちに問いかけます。

漫画『火の鳥』

漫画家手塚治虫による代表作。1950年代に執筆が始まり、30年をかけて完結した「火の鳥」は、「黎明編」をはじめとして10編以上に及びます。各編は時代こそ違え、いずれも火の鳥(不死鳥)を物語の中心にし、争いのおろかさと同時に人の命の尊さを描いています。そして今なお、映画、アニメ、舞台など、さまざまな分野で人々に感動をあたえ続けています。

手塚治虫

1928年生まれ。「命の尊さ」を永遠のテーマにしたつづ執筆、60歳で惜しまれながら亡くなりました。その間描かれた漫画作品は約600。半分以上が子ども向けの作品です。「鉄腕アトム」や「リボンの騎士」は昭和の子どものアイドル。そして「火の鳥」は今も広い世代に読み継がれています。

■山口市文化振興財団の情報誌any98号には、「火の鳥」の演出家東口次登さんのインタビュー記事が掲載されています。

「火の鳥」公演について

日時:2016年12月18日(日) 開演15:00

会場:山口市民会館大ホール

入場料: 4歳以上 一般3000円 any会員2500円 当日はいつでも3500円 こどもステーション山口会員無料

詳しくは、当事務局にお問い合わせいただくか、地域交流センターや公共施設に配置しているチラシをご覧ください。

※この公演は(公財)山口市文化振興財団との共催事業です。

※毎回、このページで連載している「たちどまってミル かんがえてミル」は今回はお休みします。

目からウロコだった!

まなんであらう

子どもの権利条約

7月23日(土)、大屋寿朗さん(子どもと文化のNPO ART.31代表)を講師に招いて山口市男女共同参画センターで学習会が開かれました。知ってるつもりで知らなかった、実はみぢかな「子どもの権利条約」。“目からウロコ”の発見もありました。

“権利”ということばがいかにめいしいので、ついむずかしく考えてしまうのですが、元の英語は“right”。もともと“権利”には人が生まれながらにして持っている、当然、当たり前、正当なこと、という意味あいがあったのですね。

“目からウロコ”の発見・・・権利は“当たり前”と言い換えると納得できることでした。子どものアタリマエ条約! 子どもにとってアタリマエなことを保障していると考えるとみぢかに思えてきますね。

子どもの権利条約は大まかに次の4つの権利に分けられます。

- ①生きる権利
- ②守られる権利
- ③育つ権利
- ④参加する権利



日本の子どもたちに今いちばん必要なのは31条です

さて、日本の子どもたちは左の4つの権利がきちんと保障されて育っているのでしょうか?

この条約を作った国連の権利委員会は「日本の子どもは過度に競争的な教育によって子どもの身体的および精神的健康に悪影響が生じ、かつ子どもが最大限可能なまで発達することが阻害されている」と懸念しています。特に31条で謳っている権利が守られていないと警告しています。

「31条」とはいったいどんな権利なのでしょう?

子どもの権利条約 31条

『休息、余暇、遊び、文化的・芸術的生活への参加』の権利

ここで権利をアタリマエと言い換えると納得!

子どものアタリマエ条約 31条

- 子どもはいっぱい休んでアタリマエ。
- 子どもはのんびり・ゆっくりしてアタリマエ。
- 子どもはいっぱい遊んでアタリマエ。
- 子どもは音楽がすき、お芝居が好き、絵を描くのが好き、美術館に行くのも好き、それはアタリマエ。

31条



子どもたちのくらしにゆとりありますか?

- ・放課後の習いごと・スポ少・部活で忙しく、小学生でも睡眠不足・不眠を訴える子どもが増えています。
- ・ほんとうに何もなくてぼんやりできる時間をおとなは認めているでしょうか?こんな時間にこそ、子どもは内面の成長を遂げます。
- ・遊ぶ時間の不足に加え、遊ぶ場所、遊ぶ仲間も少なくなっています。
- ・おとなは子どもが成績が良くなる、何かが上達する、という価値は認めますが感性や想像力をゆたかにする活動をなかなか大事に考えられません。

これから先の地域や社会を背負っていくのは子どもたちです。子ども自身の幸せと地域の、日本の、世界の問題を共に解決していくためには、子どもを大人のパートナーとして捉えることがだいじ、と大屋さん。子ども独自の知性や感性を尊重して、子どものことばにきちんと耳を傾けていくと、親と子、先生と生徒、もっと楽しくすてきなパートナーとしての関係が築けそうです。

参加者の声

- 日本の教育(勝てる一部の人のため、負けるたくさんの人を作っている)・・・悲しい現実を認識し、だからこそ多く多く感じ、考えました。子どもの望んでいる気持ちや願いを聞くことを日々、心に留めたいです。(40代女性)
- 子どもがだいじと言いつつながら余暇・休息・遊びの権利を奪っていることに気がついた。自分たちの子ども時代にはあまりあった余暇。それでよかったんだと肯定された気がした。話を聞いて31条が「子どもステーション」のバックボーンだという意味がようやく理解できた。



どろんこベタベタおしゃべり大すき!

こどもまつり 2016/4/25

学習会では、「子どもの権利条約」のなりたちを歴史的・法的にも解説されました。

この条約は、第一次大戦後に戦争の反省を踏まえ、「国連ジュネーブ宣言」として、子どもの権利宣言が定められたころから始まりました。そして1989年に「国連子どもの権利条約」が採択。子ども自身を権利行使の主体とした史上初の国際条約でした。5年後、日本は158番目の国として批准しました。

条約というのは憲法の次に国が守らなくてはならないもの。国はしっかりと「子どもの権利条約」の意識啓発をし、条約に沿った政策を実施して、子どもたちの育ちの環境をよりよいものにしていかねばいけません。しかし現状は「いじめ」や「不登校」や「自殺」が多発するような、子どもたちが生きにくい世の中になっています。それは個人で解決していく問題ではなく、社会や国の課題です。

※批准するとは・・・国が国際的なルールを確認・同意することです。「そのルールをうちの国も取り入れて守ります」ということ。

※日本では「子どもの権利条約条例」を39の自治体が独自に制定しています。(2014年11月現在) 残念ながら山口市にはまだありません。

子どもたちの学習会

この学習会の前日夜、中高生グループの子どもたちも「子どもの権利条約」について大屋さんの話を聞きました。大屋さんは自分の子ども時代に生きづらかったことがあったこと、昨年まで「青年劇場」の制作をしていて、子どもの権利条約31条を広げたいと今の活動を始めたことなどを率直に話されました。子どもたちからは、目下の悩みは「夏休みの課題が無事終わるか」「受験勉強が心配」「部活の友だち関係のこと」など、幸せな時は「寝てる時」や「お菓子を食べてる時」「家族でご飯を食べてる時」、などと聞かせてくれました。学校ではほとんど学ぶことのない「子どもの権利条約」。「休むこと」さえ自分たちの権利と知った驚きは大きかったようです。



こどもまつり 2016/4/25



子どもたちといっしょに、笑った、泣いた、感じた、考えた・・・

会員の子どもたちは鑑賞例会として、たくさんの舞台に出会っています。

人形劇団クラルテ 11ぴきのねこどろんこ

5/13(金) 山口市市民会館大ホール 《低学年コース》



いつもやんちゃでおぎょうぎの悪い11ぴきが恐竜の子ジャブと出会います。お互い生き方の違いがわかると、ケンカなんか忘れて仲なおりができちゃうんですね。

- ちいさいにんぎょうがかわいかったです。ジャブがどろみずのなかにはいってねこがどろでよれたのがすごいとおもいました。
- ねこたちのかくれんぼ、雪合戦で遊んでいる様子が楽しかった。客席の子どもたちの笑い声に幸せな気分になりました。(会員/女性40代)

アート企画陽だまり ドラマリーディング 空の村号

5/6(金) 山口市市民会館小ホール 《高学年コース》



原発に汚染された村にくらす小学生 空。子どもらしいユーモアが深刻な状況を際立たせ、笑いながらも切なくなる印象的な舞台でした。

- とても悲しいことがおきても明るくポジティブでいられるのがすごいと思いました。(会員/女子9才)
- 自分が知らないところの現実を知って、このことをずっとわすれないでいたいと思いました。(会員/女子10才)
- 楽しくて、せつなくて途中から涙が止まりませんでした。ぜひ、この物語を届け続けてください。(一般/男性50代)

あっちこっち de アート 2016

こまのたけちゃんのおそぶあそび!

7/11(月)~18(月) 市内地域交流センターなど8会場。《低学年コース》

こま、けん玉、ヨーヨーなどなど、たけちゃんのスゴ技にびっくりしたり、軽妙なトークに大笑いしたりの1時間。二部では、たけちゃんの指導でいろいろな遊びをたっぷり体験しました。



大内、宮野、大殿、白石、湯田、平川、吉敷、山口南部の8会場9ステージでたけちゃんに出会ったのは921人!

体験もたっぷり...
うまくまわせるようになった?



- すつつつつつ...ごく楽しかったです。僕の見たことのないことをしてくれてうれしかったです。(小4)
- 外で中国こまを回してもらいました。光っていてきれいでした。上まで上がったのにはびっくりしました。ろくろくびのこまはおもしろかったです。
- 体験できたのが最高でした!!子ども以上に夢中になってしまいました。(大人)
- 友だちとみれてたのしかったです!!またみたい!(小3)
- さらにまわしができるようになりました。はじめてさらまわしをやって、さいしよぜんぜんできなかったけど、たけちゃんがいっしょにやってくれて、そのかんかくをおぼえて、やったらできました。楽しかったです。(小4)



8月のLove&Peace 2016 —3.11を忘れない—

「8月のLove&Peace」では、いのち・平和・人権などをテーマに毎年8月にイベントを行っています。今年には鑑賞例会を兼ねてこの上映会を行いました。

タイトルの「(仮)」には、制作した高校生たちの思いがこれからも変化していくこと、原発事故が未だ収束せず影響が進行形であることが込められている。

相馬高校放送局 映像作品 **今伝えたいこと(仮)**
8/6(土) YCAM・スタジオC 《高学年コース》

原発事故後、当時の地元女子高生の複雑な心情、そして大人への、社会へのジレンマがストレートに伝わってきた。この上映会を続けていくことは間違いであると、当時の放送局顧問・渡部先生は語られました。

- 自分は高校1年生です。子どもにしかわからない、大人に届かない声、ぜひとも国や政府また世界に届けたいと思っています。これからは、子どもたちの声が届くの中を作ることが、今を生きる自分、つまり若ものの役目だと思う。(会員/男子15才)
- 福島の高校生の想い(訴え)を知ることができ、とても衝撃的でした。とても考えさせられました。(無記入)
- 「大人の声は聞いてくれるけど、子どもの声は聞いてくれない」という言葉が心に残りました。5年経った福島は今はまだ忘れられていないとしても、女子高生が言っていたように「いつかは忘れられる」というのに共感しました。(女子11才)



【最終回】



ゆるさが持ち味の近年の「月とすっぽん座」。今年のキャンプのテーマは「のんびり行こうよ にんげんの森」。のんびりと言いながら「にんげんの森」なんて、なかなか味わい深い(?)テーマです。ちなみに「ケイドロ」は鬼ごっこ的一种ですが、夕食のカレーの具材は、このケイドロで争奪しあったとか。

猛暑続きの3日間でしたが、中1~高2まで10人のリーダーたちは大人も含めて全体で34人のキャンプを大きなトラブルもなく、楽しく引っぱり張ってくれました。初参加の大人のスタッフもこの3日間のリーダーたちの成長ぶりには目をみはるものがあったと語っていました。

今回をもって中高生グループのシリーズは、いったん終了します。今後、中高生グループの活動については、随時掲載していきます。

3月までに開かれる鑑賞例会

- 10/14(金) 低学年+高学年対象 コンサート 森のオト
- 10/15(土) 幼児対象 コンサート ポロポロン
- 12/10(土) 幼児対象 人形劇 ちいちゃんにん
- 12/18(日) 小学生以上対象 人形劇 火の鳥
- 2017
3/10(金) 高学年対象 だるま食堂の日替わりコト定食
- 3/20(月・祝) 低学年対象 舞台劇 いまからいえでいってきます

そのほかの予定

- 10/6(木) 秋の会員交流会
- 10/28(金) ハロウィンパーティー (中高生グループ企画)
- 2017
2/12(日) こどもステージ・リ・フリー
- 毎月1回開催 幼児クラブ モコナ
- 毎月第2火曜 10:30~ 会場: 吉敷地域交流センター

LECTURE REPORT

参加しました

平田オリザさんの講演会

7月17・18日 in下関

～地域の活力に芸術・文化～

劇作家の平田オリザさんのイベント2つに参加しました。一つはオリザさん・哲学者の小川仁志さん・エネルギー学者の飯田哲也さんのトークセッション。人と違った考え方や新しい物事の進め方にはセンスが大切で、そのためには幼い時から絵やお芝居や音楽など本物に触れること、というお話がありました。こどもステーションのみなさんが聞いていたら喜ばれたでしょう。もう一つはオリザさんの講演に続いて、オリザさんと下関市長・こどもの広場の横山真佐子さん・劇団海峡座の座長のトークセッション。オリザさんは兵庫県豊岡市や岡山県赤松町の文化、人づくり政策の顧問をつとめておられるそうです。芸術や文化が地域の活力になるというアイデアはその首長のセンスがものを言うそうです。山口の首長さん、お願いしますよ。私は『センス・オブ・ワンダー』(レイチェル・カーソン著)を読み直します。
中原みどり(会員)



集まるとたのしい・・・

私たちの周りには、何かの目的を持って集まり、人と出会ってつながるたのしさを実感しているグループがたくさんあります。今回からこどもステーション山口の会員さんたちが関わっているそんなぐるーぶをピンポーン! (紹介)していきます。

1回目はこどもステーション山口の「吉敷ブロック」。良城小学校区の会員さんたちを中心に楽しく活動されています。

ブロックはおよそ小学校区ごとの会員が集まって活動しているグループです。それぞれ活動の中身や頻度はまちまちですが、ブロックによっては地域の会員の居場所になっています。

吉敷ブロック

「ぼくは会員じゃないけど」と言いながら快く参加したり協力してくれるお父さんの多い吉敷ブロック。家族ぐるみで楽しんでいる姿がよく見受けられます。活動を支援したいとおとただけで会員になってくださっている方も。バーベキュー大会、そうめん流し、スイカ割り、餅つきなどの定番イベントだけではなく、ふだんもたびたび集まってこどもステーションの活動をあれこれと相談。そんな時、中高生が小さい子どもたちと遊んだり、めんどうをみたり。地域というより、ご近所感覚のグループです。

そして毎月1回、吉敷地域交流センターで開いている「幼児クラブモコナ」。季節の行事を取り入れた遊びを企画しながら未就園児の親子の居場所を、吉敷ブロックの先輩ママたちがサポートしています。我が子も「モコナ」で大きくなり、やがてサポートされる側がサポートする側に移っていくという、うれしい世代交代。なんと、もう24年も続いているのですって。



たれでもあそびにできますよ

こどものきもち

人生のルール

- ① シャツをパンツのなかにいれない。
- ② りょこうにいくときよういはじぶんです。
- ③ ほめてもらったらよろこぶ。
- ④ かいものはみんなです!
- ⑤ ひとをばかにしない。



りょうじょう小学校1年
くらたおうが



赤れんがだより

クリエイティブ・スペース赤れんがはこどもステーション山口が指定管理者となっています。貸館業務のほかに、今年度は以下のような独自の事業を行います。

- 11/19(土) チェンパロ+リコーダーコンサート
- 2017
1/9(月・祝) 柳家さん喬 独演会
- 1/12(木)~22(日) 下瀬信雄 写真展

こどもステーション山口とは

子どもたちが文化芸術に親しんで、心ゆたかな子ども時代が過ごせるように活動しています。プロの舞台芸術に出会う鑑賞例会のほかに、キャンプやこどもまつりなど、たくさんのなかまといっしょに活動できる場をサポート。大人にも、「子どもと共に育ちあう」学習の機会を提供しています。また各地区ブロックでは、会員が地域のつながりを大切にしながら、独自の楽しい活動を行っています。

ご入会ください・・・鑑賞例会料金が無料に!

- 正会員 月会費2,500円(子どもの登録OK)
子どもの登録料(一人400円/年)
- 準会員 月会費1,300円(大人だけの参加)
- 賛助会員 個人会費:一口5,000円/年
団体会費:一口10,000円/年

※寄付も随時、募っています。
※年間3,000円以上ご寄付いただいた方は確定申告により、税額控除が受けられます。

- こどもステーション山口=9月の会員数
正会員180人 準会員66人
子ども登録数394人 計640人

2016年4月~9月 ご支援いただいた方の紹介

《団体賛助会員》

- 塗装 秋貞 ■ 山口ケーブルビジョン(株) ■ 福永商事(株)
- ビジネスホテル富士の家 ■ 永田こどもクリニック
- おおどの診療所

《個人賛助会員》

- | | | | |
|-------|-------|-------|-----------|
| 大来静枝 | 中島匡博 | 松崎ウメコ | 宮田佳子 |
| 木村純子 | 柏谷輝彦 | 未長正美 | 柴崎泰子 |
| 内田美子 | 杉山昭郎 | 未長桂子 | 武宮多恵子 |
| 小宮友子 | 嶋田日出夫 | 保手浜孝 | 中林和子 |
| 石津久美子 | 奥島一洋 | 上野祐子 | 長谷川真成 |
| 金重節子 | 山岸秀雄 | 藤原美智子 | 長野裕子 |
| 嶋田真美 | 津波容子 | 片倉潤子 | 江村順子 |
| 林 佳子 | 松富昭子 | 山崎睦子 | 菊本達子 |
| 勇木礼子 | 兼森禎子 | 大山朝子 | 加藤美知代 |
| 矢野 節 | 寺田洋子 | 山本尚代 | (順不同・敬称略) |

《「支え人。」としてのご支援をいただいている企業》

- (株)メルシー ■ リンドヴルム

《ご寄付いただいた方》 14名 13団体